

科目	応用倫理学 (Applied Ethics)		
担当教員	李明哲 非常勤講師		
対象学年等	全専攻・2年・後期・選択・2単位【講義】		
学習・教育目標	C3(50%), D1(50%)	JABEE基準	(a),(b)
授業の概要と方針	科学技術が驚異的に進展する現代では、「ヒトにしかできないこと」の模索が必要です。応用倫理学は、生命の価値や、幸福の在り方、社会での承認など「ヒトゆえに考えざるを得ないこと」にたいして様々なアプローチをおこないます。そこでは、たんなる個人のこだわりではなく、「他者」との対話をとおした批判的な吟味を大切にします。授業方法としては、ディスカッションを多く取り入れ、プリントによる講義で補足します。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【C3】新しい科学技術の社会的応用には、倫理的問題の解決が不可避であることを理解する。		応用倫理学の諸問題についての理解度を定期試験で評価する。
2	【D1】科学技術の諸問題を技術者の倫理的責任の問題として理解し、それについての自分の意見を矛盾なく展開できる。		応用倫理学の諸問題についての考察力を授業レポートや定期試験で評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験60% 授業中のミニレポート(グループディスカッションでのやりとり)40% として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	授業プリントを使用する。		
参考書	『教養としての応用倫理学』浅見昇吾, 盛永審一郎編(丸善出版) ほかにも講義で随時紹介する。		
関連科目	工学倫理, 現代思想文化論		
履修上の注意事項	テーマごとに、グループディスカッションに集中して取り組み、関心と知識を高めていきましょう。		

授業計画(応用倫理学)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	イントロダクション	「哲学・倫理学」のイメージについて,意見交換し,考えを深める。「モラルジレンマ」という概念について,かんたんな事例検討をとおして理解を深める。
2	応用倫理学とは?	規範倫理学(具体例をとおして),応用倫理学それぞれの特徴について理解する。
3	情報社会と情報倫理	SNSなど身近な事例から,プライバシーの権利やインターネットにおける誹謗中傷など,情報社会における倫理問題を学ぶ。
4	医療情報について	がん告知やインフォームドコンセント,「知らないでいる権利」など,医療現場で必要な情報倫理を学ぶ。
5	生命倫理と自己決定権(1)	生命倫理に必要な,人間の「尊厳」や「パーソン」概念,「ケアの倫理」などの論点を理解する。
6	生命倫理と自己決定権(2)	延命治療を止める=消極的安楽死(尊厳死)と,致死薬を投与する=積極的安楽死の区別を学ぶ,これを踏まえ,ディスカッションで,この問題で問われていることを考える。
7	市場社会と生命倫理	医療資源配分の問題や,脳死と臓器移植の問題などの理解を深める。
8	生殖と家族の倫理(1)	不妊カップルが第三者に卵子や子宮を提供してもらう「代理母出産」および,ドナー型精子バンクによる人工授精の問題を学ぶ
9	生殖と家族の倫理(2)	妊娠中から胎児の染色体異常の有無を調べる,「出生前診断」にかんする倫理的問題を考える。
10	市民社会と技術倫理(1)	公害や製造物責任,バリアフリーなどの事例をとおして,「技術者倫理」とは何かを考える。
11	市民社会と技術倫理(2)	AIやロボット,ゲノム編集など,新たな科学技術をめぐる倫理的問題を学ぶ。
12	技術の発達と動物倫理	肉食や動物実験にともなう倫理的問題を学び,動物倫理について理解を深める。
13	自由主義と環境倫理	地球温暖化,放射性廃棄物などの環境問題などを題材に,「世代間倫理」などを学ぶ。
14	民主主義と合意形成	貧富格差や,分配と正義の問題について,具体事例や思想家の議論をとおして学ぶ。
15	まとめ	これまでの内容をまとめ,グループディスカッションをおこなう。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	後期定期試験を実施する。 本科目の修得には,30時間の授業の受講と60時間の事前・事後自己学習が必要である。事前学習としては,各回テーマについて自分の知っていることや気になることを整理しておく,インターネットで情報収集する場合は,その情報源(新聞記事や論文など)を確認しておく,事後学習としては,グループディスカッションと講義内容を振り返り,自分が初めて得た見解や,改めて考え直した点を整理しておく。	